

# 令和3年度 中学校「学習指導・評価計画表」教科【数学】学年【2年】大原 秀智

知: 知識・技能

思: 思考・判断・表現

態: 主体的に学習に取り組む態度

月	単元 題材	学習内容	観点	評価規準(B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
4・5月	1章 式の計算	1節 式の計算 2節 文字式の利用	知 思 態	<p>①単項式や多項式、次数や同類項の意味を理解している。          ②簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。          ③具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。          ④文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。          ⑤目的に応じて、簡単な式を変形することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単項式、多項式、項、次数、一次式、二次式、同類項の意味を知り、その用語を適切に用いて自分が行った計算について説明できる。</li> <li>・多項式の加法、減法の計算が手際よく正しくでき、また、単項式の乗法、除法について、約分や通分を含めて手際よく正しく計算ができる。</li> <li>・複雑な等式においても、目的に応じて式を変形することができる。</li> </ul>	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
				<p>①具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。          ②文字を用いた式を具体的な場面で活用し、数量の関係を説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多項式と数との乗法、除法に関心をもち、進んで計算の方法を考えたり、今まで学んだことと関連付けて計算を行ったりしようとしている。</li> <li>・数量の関係や数の性質を予測、類推し、文字を用いた式に表して考察することができる。</li> </ul>	
				<p>①文字を用いた式のよさを実感して粘り強く考えようとしている。          ②文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。          ③文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑な等式においても、目的に応じて式を変形することができる。</li> <li>・日常生活や社会の事象における問題を、文字を使った式を利用して解決したり、解決の過程をふり返って、新たな問題を数量に着目して見いだしたりすることができる。</li> </ul>	
		1節 連立方程式 2節 連立方程式の利用	知	<p>①二元一次方程式とその解の意味を理解している。          ②連立方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。          ③簡単な連立方程式を解くことができる。          ④代入法と加減法の特徴を理解し、適切に用いることができる。          ⑤事象の中の数量やその関係に着目して連立方程式をつくり、それを解くことで答えを導くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二元一次方程式や連立方程式を解く意味を理解し、それを説明できる。</li> <li>・連立方程式を加減法と代入法のどちらの解き方が適切か判断して解くことができる。</li> <li>・複雑な場合について連立方程式を利用して問題を解決できる。</li> </ul>	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題

5 ・ 6 月	2章 連立方程式	思	<p>① 一元一次方程式と関連付けて、連立方程式を解く方法を考察し表現することができる。</p> <p>② 連立方程式を具体的な場面で活用することができる。</p> <p>③ 求めた解や解決の方法を振り返って、それらが適切であるかどうかを考察し表現することができる。</p>	<p>・1元1次方程式と関連づけて、連立2元1次方程式を解く方法を考え、表現することができる。</p> <p>・連立2元1次方程式を具体的な場面で利用することができる。</p> <p>・解が問題にあっているのかの正確な吟味が行える。</p>
		態	<p>① 連立方程式のよさを実感して粘り強く考えようとしている。</p> <p>② 連立方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>③ 連立方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p>	<p>・連立2元1次方程式のよさを実感して粘り強く考え、連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうしたり、連立2元1次方程式を利用した問題解決の過程をふり返って、評価・改善しようとしたりしている。</p>
7 ・ 8 ・ 9 月	3章 一次関数	知	<p>① 一次関数について理解している。</p> <p>② 事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを知っている。</p> <p>③ 二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。</p> <p>④ 変化の割合やグラフの傾きの意味を理解している。</p> <p>⑤ 一次関数の関係を表式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができます。</p>	<p>・日常生活や社会の事象における問題の解決に、1次関数を利用できることを十分に理解している。</p> <p>・一次関数 <math>y=ax+b</math> の係数の意味やグラフの特徴を説明することができる。</p> <p>・さまざまなもので、一次関数の式を正確に求めることができます。</p> <p>・2直線の交点の座標と、連立方程式の解が一致することを説明でくる。</p>
		思	<p>① 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。</p> <p>② 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</p>	<p>・身のまわりの事象の中で、一次関数の関係になつていているかどうかについて、表、グラフ、式を利用して確かめることができます。</p> <p>・一次関数の式から、工夫して正確にグラフをかくことができる。</p>
		態	<p>① 一次関数のよさを実感して粘り強く考えようとしている。</p> <p>② 一次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>③ 一次関数を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p>	<p>・日常生活や社会の事象における問題を、変化や対応のようにして着目して、1次関数を利用して解決したり、解決の過程をふり返って、新たな問題を見いだしたりすることができます。</p> <p>・1次関数を日常生活や社会の事象における問題の解決に利用することに 관심をもち、進んで問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。</p>